

もの言う牧師のエッセー 第177話

「宇宙飛行士への夢」

JAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙飛行士、油井亀美也さんが、来月いよいよロシア宇宙船「ソユーズTMA15M」に乗って宇宙へ旅立つ。国際宇宙ステーション（ISS）に約6ヶ月滞在する予定という。航空自衛隊のテストパイロットだった彼は、300倍を超える競争率の選抜試験に39歳で合格し2009年に飛行士候補となった。その後さまざまな技術の習得や過酷な状況に耐える体力の養成に励み、必須科目のロシア語を学び、冬の森でのサバイバル訓練などで鍛えた。

「年を取ってくると能力は衰えるもの、自分はこちらまでしかできないという一般的なイメージがある。でも私はそうではないと思っています。だから、自分にはもっと可能性があるというところを見せたい。どんな方でも自分に限界を設けているんですね。もっと上を目指してほしい」などと言う彼も、実は選抜試験の応募が締め切られる1週間前まで、自衛隊で約束された飛行隊長の道を捨てて夢に突き進んでいいのか悩んでいたという。そんな彼の背中を押したのが、彼の妻の一言「あなた、ここでやらないのはちょっと違うんじゃないの？」

聖書には

「私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。」

2ペテロの手紙3章18節、

とハッキリ書いてある。色々あって神を頼り、キリストを信じたまでは良いが、その後“ここでやらない”人が多い。教会に参加したり洗礼を受けたりすれば後は何もしないでよいのではない。実はそこから神から受ける聖霊の力によって、個々の可能性に向かって成長していかなければならない。そうすることによって、やがて我々はより強くなり、夢を叶え、神に造られた本来の人間の能力を発揮して実を結ぶことが出来る。神の子として。

2015-4-2

